

宮前市民力で創り変える「新田園都市」とは

宮前区をだれもが「引っ越して来たい」「住み続けたい」と感じられるまちに

鷺沼駅周辺を宮前区全体の活性化を促す「核」とし、地域生活拠点の形成を図る——との方針が2月4日、川崎市から示されました。区役所・市民館・図書館を移転・整備する計画です。

①多世代をバックアップし、すべての区民が「受益者」に。持続可能なまち宮前区を創造します。

東急電鉄など民間事業者の協力も得て、宮前区民の生活を支える、さまざまな機能を整備。

②現区役所等の施設・用地については、平成34年度を目途に「(仮称)施設・用地活用に関する基本方針」策定の方針が示されました。

当初の更地売却になる懸念を取り払いました。区役所周辺の皆さんへの最大の配慮がなされ、向丘出張所についても並行して方針が示される予定です。区民の利便性を高め、さらに「公共施設貧困地域」を卒業するチャンスです。

③スマートフォンから簡単に乗車予約が可能な「オンデマンドバス」や、坂道や狭い道でも快適に走行できる「パーソナルモビリティ」など、宮前区での導入の検討へ。

東急電鉄が郊外住宅地の多様な移動選択肢の整備を目的に「郊外型MaaS(最適な移動手段を提示するサービス)実証実験」を行っています。

④交通至便な鷺沼駅前に市民館とホールが整備されます。

川崎市の中域の芸術・文化の殿堂となることが期待されます。

文化と教養の香りが高い宮前区です。音響や舞台装置に少し工夫をこらして音楽、演劇、バレエ、ミュージカルといった舞台芸術を振興することが可能ではないでしょうか。



みなさんとの 3つの約束

スタートは皆さんの意見からです

情報やご意見をどんどんお聞かせください。

宮前区にくらす私たちの視点で問題を徹底的に調べます

とにかく歩きます、聴きます、調べます。

もっともっと「宮前市民」主張します

納税に見合うリターンを。宮前区役所に権限と財源を移譲。

宮前区のことは身近な区役所で解決できる仕組みをつくります。



■ おだ かつひさ(織田勝久) ■

◆1961年、川崎市幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学法学部卒業(地方自治、都市政策専攻)

◆国会議員秘書を経て、2003年川崎市議会議員初当選。現在4期目。市議会総務委員会委員長、健康福祉委員会委員長、議会運営委員会副委員長、市議会政策担当者会議メンバー、市監査委員等を歴任。みらい川崎市議団前団長。

◆ボーイスカウト川崎第54団育成副会長、宮前区少年野球連盟顧問、宮前区ゲートボール協会顧問。原水禁川崎市連事務局長。

◆尊敬する人物/ケネディ元アメリカ大統領。

◆好きな作家/司馬遼太郎、宮城谷昌光(時代の変革期の人間模様に関心)

◆好きな言葉/知行合一。嫌を避くる者は、皆足らざるなり。

◆妻、二男(25才と20才)の4人家族。有馬在住。

宮前区事務所 〒216-0003 川崎市宮前区有馬6-6-1 五十嵐ハイツ102号

TEL & FAX 044-856-5456

<http://odakatsu.com/> f t YouTube おだかつひさ



宮前市民力で創り変える
「新田園都市」
いよいよスタート

おだ
かつひさ

川崎市議会議員(宮前区)